



高次脳機能障害のリハビリテーション

ーイギリスの神経心理リハビリテーション

・障害者支援から学ぶー

高次脳機能障害の支援では、神経心理リハに基づいてニューヨークのラスク研究所によって作成された「神経ピラミッド」が有名ですが、最近では世界各国様々な形で神経心理学リハが進化しており、イギリスではOZC(Oliver Zangwill Centre)がその中心にあります。今回は、日本にも多大な影響を与えているイギリスでの神経心理学リハや障害者支援について学びます。関心をお持ちの方は是非ご参加ください！



【日時】 平成31年1月13日(日) 13:00～16:30 (12:30受付)

【会場】 横浜市中区 情文センター 6Fホール

みなとみらい線日本大通り駅 情文ホール口、JR関内駅 徒歩10分

【基調講演】

神奈川リハビリテーション病院リハビリテーション科医 青木 重陽 氏
「イギリス OZC(Oliver Zangwill Centre)への留学での学び」

【シンポジウム】

専修大学人間科学部心理学科 教授 岡村 陽子氏
「日英の神経心理学リハビリテーションについて」

関東学院大学社会学部現代社会学科 教授 麦倉 泰子氏
「英国での障害者支援の今」

シンポジウム コーディネーター
神奈川リハビリテーション病院 総合相談室 佐藤 健太氏

【参加費】 無料

お申し込みは裏面に必要事項を記入し協働事業室 (神奈川県リハビリテーションセンター内)へなるべくFAXでお送りください(TEL の場合は火～金10:00～15:00)

※ 定員を超過した場合のみ、お申込者にご連絡いたします。連絡がない場合は、そのままご参加ください。

主催: 神奈川脳外傷リハビリテーション講習会実行委員会

後援: 神奈川県、横浜市、横浜市社会福祉協議会(申請中を含む)

神奈川県リハビリテーション支援センター、NPO 法人日本脳外傷友の会